

12/7 白熱の二日間 教育長杯争奪小学生バレーボール大会

令和6年度沼田町教育長杯争奪小学生バレーボール大会が12月7日(土)、8日(日)の2日間、町民体育館で開催され、沼田リトルポプラが出場しました。

1日目は5年生大会、2日目は6年生大会と2日間に分かれて開催され、5年生大会では優勝、6年生大会では決勝まで勝ち進み、最後まで粘り強い戦いを見せましたが、惜しくも準優勝となりました。

両日ともに熱戦が繰り広げられ、会場は選手たち、保護者の歓声と応援の声で溢れていました。



12 「働く」をテーマに話し合い 12 企業と学生の座談会「ぬまとーく」

拓殖大学北海道短期大学にご協力をいただき、企業と学生の座談会「ぬまとーく」が12月12日(木)に開催されました。

町内企業6社9名、学生29名が参加した本事業は、企業の人手不足が深刻化している今、学生の価値観や就職活動において重視していることなどの声を聞くことで、町内企業の人材確保のヒントを得ることを目的として開催されているもので、今年が3回目の開催となります。

参加した企業は「将来について具体的に考えている学生が多く感心しました。学生と話せたことで採用活動の参考となることが多くありました」と話していました。



12 安心・安全な除雪作業を目指して 12 除雪マナー講習会

冬期間、町内で除排雪作業を行っている事業者を対象に、除雪マナー講習会を開催しました。

講習会では役場担当職員から、役場に寄せられている町民からの要望や町内に数か所ある排雪用雪捨て場の位置やルールなどを説明しました。

参加した事業者は、資料を見ながら冬期間除雪のマナーを改めて確認し合い、「事故なく安心、安全な作業に努めます」と話しました。



12 / お金について学びました 17 小学5年生金融教育

北空知信用金庫（池内英二理事長）主催の金融教育授業が12月17日（火）沼田小学校（吉田純一校長）5年生15名を対象として行われました。

金融教育は、お金の役割や価値についてそれぞれ理解し、お金を稼ぐことの大変さや親への感謝の気持ちを育てる効果、また投資や外貨などについて学ぶ目的など、幅広い内容で行われています。

授業では、円安・円高の仕組みや、それぞれのメリット・デメリットについて教わり、小学生は興味津々で話を聞いていました。

授業終了後、児童は「今まで知らなかったお金の大切さやお金の動きを勉強できて良かったです」と充実した表情で話しました。



12 / 介護の知識・技術を身に付ける 18 介護の学び教室

楽ワザによって身体の不自由な方やお年寄りの暮らしを豊かにするため、全国各地の介護施設へ赴きアドバイザーとして活躍されている青山幸広あおやまゆきひろ氏を講師に、沼田中学校（里館幹彦校長）3年生13名を対象とした介護の学び教室を開催いたしました。

青山氏は、2004年に介護アドバイザー会社「ケアプロデュースRX組」を設立し「おむつをしない」「薬に頼らない」など独自の介護術と理論を持ち介護指導を行っているケア・アドバイスの第一人者であり、中学生は、要介護者の負担を軽減させる体の動かし方や車椅子の畳み方など講義と実技を交えて教わり、介護の重要性を肌で感じていました。

青山氏は「介護職の魅力が伝えることで介護の仕事に興味を持つ方が一人でも増えてくれればいいと思います」と笑顔で話されました。



12 / 今年も美味しいお酒へ 18 雪なごり原酒 雪の科学館で貯蔵開始

雪中ブランド酒「雪室熟成純米酒雪なごり～瑞華～」の熟成が12月18日（水）から始まりました。

沼田町の恵まれた自然条件を活かし、低温でじっくりと熟成させることで、日本酒の成分が安定し、雑味なくまろやかな味わいが生まれます。

今年も4,000リットルが貯蔵され、約90日の間、雪の科学館で熟成させる予定です。

酒米を生産している有限会社HJYさくらの山岡禎弘社長は「熟成した美味しいお酒を沢山の皆さまに飲んでいただきたいです」と話されました。



12/19 安心・安全なシーズンを目指して 19 ASHIMOI KANKO高穂スキー場安全祈願祭

ASHIMOI KANKO 高穂スキー場の安全祈願祭が12月19（木）執り行われました。

リフトを管理する索道の従業員やスキー学校、ロッジ食堂部の方々が参列し、事故や怪我のない安心で安全なシーズンになることを祈願しました。

三浦教育長は「お客様がスキーシーズンを楽しんでいただけると幸いです。また、高穂スキー場が地域の賑わいを創出する拠点施設となるよう、スキー場関係職員の皆様のお力添えをよろしく願いいたします」と挨拶されました。



12/20 歳末、年始の安全のために 20 歳末特別警戒が始まりました

歳末・年始の犯罪や交通事故などを未然に防ぐため、防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）による歳末・年始特別警戒が12月20日（金）始まりました。

特別警戒にあたり観光情報プラザでは、夜高パトロール隊の出動式が行われ、石田支部長は「年間を通じた防犯活動に感謝しています。皆様の活動が防犯・無事故に繋がっていますので、歳末・年始についても引き続きよろしくお願いします」と話されました。

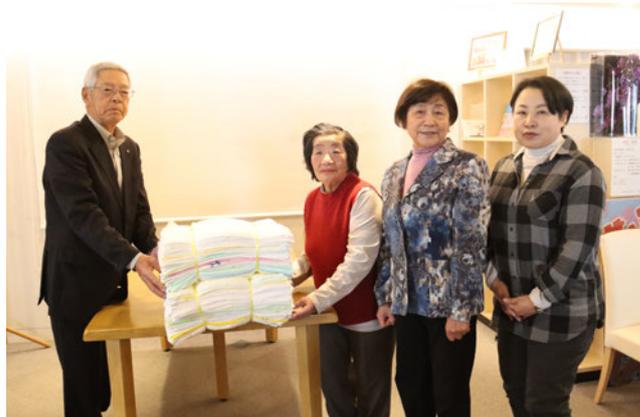
また、出動式後の激励会で深川警察署沼田警察庁舎おおしませいじの大島誠司所長は「歳末・年始の防犯強化にご協力願います」と激励の言葉を送り、隊員は歳末・年始の防犯・交通安全を町内に呼びかけました。



12/23 大切にに使わせていただきます 23 ひまわりの会からタオルの寄贈

ひまわりの会（山田はしめ代表）から12月23日（月）福祉施設へタオルの寄贈がありました。

この日、ひまわりの会の会員（写真右から中野智明さん、山田はしめさん、馬場美智子さん）が暮らしの安心センターを訪れ、沼田町社会福祉協議会の松田剛会長にタオル100枚を手渡されました。このタオルは、デイサービスセンター、旭寿園、和風園、なごみで使用させていただきます。



1 / 4 新年を占う運試し 新春福引抽選会

沼田町商工会（吉住淳男会長）、沼田町ポイントカード会（西尾昌浩理事長）が主催する「新春福引抽選会」が、1月4日（土）観光情報プラザで開催され、会場はNumaCaを持った町民で賑わい、特賞のサイコロの出た目で電子商品券の金額が決まる新春運試しサイコロを狙って、抽選会に臨んでいました。

また会場の外では振る舞いコーナーとして、雑煮やクラフトビール、肉吸いが提供され、焚火を囲い、新年を祝いながら美味しい料理を味わっていました。



1 / 8 災害に強い町を目指して 沼田消防出初式

令和7年沼田消防出初式（小西克典団長）が1月8日（水）役場駐車場で執り行われました。

消防出初式は、1年の無事を願い、消防団の士気高めるため毎年行われる行事で、防災意識を高める目的として行われています。

消防団員の力強い分列行進から始まった式典で、小西団長は「日頃からの備え、訓練での技術向上、あらゆる災害に対する日夜献身的な活動に感謝します。今後も町民の生命・身体及び財産を守り、地域の中核としてご尽力願います」と挨拶され、横山町長は「今年が災害のない一年であることを願うとともに、一人一人が防災意識を高め、災害に強い町づくりを目指してもらいたい」と団員を激励されました。



1 / 16 子どもたちの遊び場に 松尾住設が小学校グラウンドに滑り台を造成

有限会社松尾住設（松尾敦史代表取締役）が1月16日（木）沼田小学校校庭に雪の滑り台を作ってくださいました。

毎年、ボランティア活動の一環として、小学校グラウンドに高く積み上げられた雪山を、大型の重機で綺麗に成形していき、立派な滑り台を造成していただきました。

この雪山は、休み時間に児童が滑り台として楽しく遊んだり、スキージョーグの練習などに活用させていただきます。



1/18 笑顔と歓声響く！ 親子でボッチャをたのしもう

沼田町地域子育て支援センター（山形千都子支援センター長）が主催する「親子でボッチャをたのしもう」が1月18日（土）生涯学習総合センター「ゆめっくる」で開催され、20名の方が参加されました。

ボッチャとは、パラリンピックの種目にもなっている老若男女問わず楽しめるスポーツで、目標のボールに向かってボールを投げ、いかに目標に近づけるか競うスポーツです。

今回のイベントでは、就労継続支援施設チーム紅蓮（旭川市）から五十嵐真幸さんと松波正晃さんにお越しいただき、ボッチャを教えていただきました。

最初は、ボールを投げる力加減に戸惑う様子も見られましたが、次第に慣れてくると、各チームがそれぞれ作戦を立て、子どもも大人も一緒に楽しみながら白熱した試合を繰り広げていました。



い が ら し ま さ ゆ き ま つ な み ま さ あ き

かれんけんみずほごう 友好姉妹都市「台湾 花蓮県瑞穂郷」が来町

昨年6月20日に、友好交流協定を締結した台湾花蓮県瑞穂郷の訪問団（15名）が、12月27日（金）に本町を訪れ、歓迎式や雪国体験など友好交流が行われました。

瑞穂郷側から呉萬徳郷長や地域代表者、本町から横山町長や小峯議長が出席したほか、お互いの行政関係者が出席しました。

横山町長は「瑞穂郷の皆様とお会いできて嬉しく思います。雪国でしか味わえない体験を思う存分楽しんでください」と歓迎し、瑞穂郷長からは「沼田町の方々と今後も様々な文化で交流を深めていければ幸いです」と挨拶されました。

歓迎式では、夜高あんどん祭りのTシャツや雪まちコーヒーなどの特産品を贈り、瑞穂郷からは沼田町へ台湾翡翠や特産のお茶などが贈呈されました。

その後、ASHIMOI KANKO 高穂スキー場でソリ滑りや圧雪車搭乗体験、また、そらち自然学校では、幌新の森を散策するスノートレッキングや白樺樹液の紅茶を楽しむなど、沼田町ならではの体験を通して互いに友好を深めました。



お米・日本酒部門で2冠達成！ 北竜町・雨竜町・沼田町 3町うまいっしょグランプリ

北竜町・雨竜町・沼田町の3町とJAきたそらち（北竜支所、雨竜支所）JA北いぶき（沼田支所）で組織する3町営農改善推進協議会（会長 横山町長）が主催し、今年で8回目となる「3町うまいっしょグランプリ」が12月19日（木）沼田町で開催されました。

今年収穫した新米「ゆめぴりか」・新そば「きたわせ」、酒米で造った日本酒を3町それぞれが競い、どの町が1番美味しいのかを決定するもので、米の炊き上がりなど同じ条件のもと食べ飲み比べが行われました。

香り・のどごし・うまみなどの審査基準をもとに厳正な審査が行われ、投票の結果、沼田町は米・日本酒の2部門で1位、そば部門では2位に輝きました。

横山町長は「大変光栄ですし、各事業者皆様の御協力があったの結果だと思っています」と話され、北いぶき農業協同組合沼田地区代表理事の堀田勝^{ほりたまさる}さんは「今後も3町が競い合い、より良い農産物の生産ができることを願っています」と笑顔で話され、トロフィーが授与されました。



固定資産評価委員に生田氏、澤田氏が任命されました

固定資産税の評価額に不服がある納税者からの審査申し出について、中立・公正の立場から、固定資産について町の評価額が適正であるかを審査する固定資産評価委員の辞令交付が12月25日に行われました。

今回任命されたのは、生田忠幸^{いくただゆき}氏（北竜3）、澤田彰^{さわだあきら}氏（共成）で、任期は令和9年12月24日までの3年間です。

